

第14 回防府市子ども読書フェスティバル報告

今年度は、「本からひろがる子どもの世界」をテーマに、令和7年6月8日（日）、午前中はルルサス防府2階多目的ホール、午後は防府市立防府図書館を会場に開催しました。以下はその報告です。子供たちの笑顔がたくさん見られました。

絵本作家・さいとうしのぶ ワークショップ

自分の名前の絵本を作ろう！



絵本作家さいとうしのぶさんのワークショップでは、親子37組（大人50人、こども55人）が手作り絵本に挑戦しました。さいとうさんが、初めに絵本の読み聞かせをしてくださり、絵本作りの楽しさや絵本に込められた思いを話されました。その後の絵本作りでは、自分の名前で始まる言葉とそれにまつわる絵を描きました。事前に自分の名前の字を練習したり、内容を考えてきている人もいて、スムーズに進みました。



さいとうさんは、参加者の机をまわりながら気軽に声をかけ、アドバイスをされました。色塗りができたら、背表紙を貼り付けて完成です。親子で知恵を出し合って世界で一つだけの自分の名前の絵本が完成。満足感でいっぱいの笑顔が広がりました。



サイン会

ワークショップの後のサイン会では、絵本作家・さいとうしのぶさんが、来場者と言葉を交わしながら、イラスト入りのサインを手早く書かれました。大好きな絵本が思い出とともに特別な一冊になりました。



パタパタカードを作ろう！

【協力】図書館ボランティア「まーぶる」

色画用紙を折ってのり付け、4面に絵を描くと、次々に絵が変わる不思議なパタパタカードができていきます。日頃は、防府図書館の壁面の飾りを作っている、図書館ボランティア「まーぶる」が準備と指導を担当。今年5月に発足した中学校の地域クラブ「図書館クラブ」の部員8人がお手伝いに加わりました。中学生は、作り方の説



当日は、幼児から大人まで45人の参加があり、スタッフ総出でカードの完成を手伝いました。小さい子には、しゃがんで目線を合わせ、手を添えてサポートする中学生の姿が見られました。カードが完成すると笑顔と一緒に「ありがとう」の言葉をいただき、図書館での新たな交流がうまれました。



スペシャルおはなし会！

【出 演】

学校図書ボランティアネット・防府
おはなレグループ・森のくまさん

おはなしのへやを飛び出して、オープンスペースのブラウジングコーナーでおはなし会を開きました。幼児から英語に親しんでほしいとの思いをこめて、英語の大型絵本も読みました。英語での質問にも大きな声で返事が返ってきて盛り上がりました。後半は、紙芝居・大型絵本・歌や手遊びと、スペシャルな出し物でおはなしの世界を満喫してもらうことができました。



展示

布絵本「結う」

ブラウジングコーナー壁面には、布絵本「結う」制作の海の世界を表現したタペストリーを展示。細かな工夫があり、親子で触って楽しみました。貸出用の布絵本も紹介されました。



あいさつ

今年度から実行委員長を引き継ぎました松本です。

この「子ども読書フェスティバル」は、防府図書館と図書館で活動するボランティア 13 団体の協力で開催されています。「本の力」を信じる大人たちが、子供たちに「本を通して世界を広げてほしい」と願って、今年度も色々知恵を出し合いました。こうした行事をきっかけに市立図書館や学校図書館に足を運んで、様々な本と出会い、心動かされる素敵な体験をしてほしいと願っています。そのためには大人の皆さんのご協力が欠かせません。「子ども読書のまち・防府」となるよう、これからも皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

防府市子ども読書フェスティバル実行委員長 松本直江